

**彩の国21世紀郷土かるた大会**  
 越谷市総合体育館 越谷市大会 2月11日(月・祝)  
 県大会 3月10日(日)

小学生を対象に「彩の国21世紀郷土かるた」の越谷市大会に続き、県大会が開催されました。(越谷市では平成7年の13回大会以来2度目)  
 県大会は、昨年11月から今年の2月にかけて行われた県内各地区の厳しい予選を勝ち抜いた600名の選手や、読み手・審判のジュニアリーダー、そして応援の保護者が参加し、盛大に行われました。団体戦と個人戦に分かれて優勝を目指し、熱戦が繰り広げられました。南越谷の代表も健闘しました。その結果は左記の通りです。

**【越谷市大会】**  
 団体優勝：杉の子A(豊田清華、五十嵐優佳、安藤竜也、河地佑太)  
 ベスト8：ファミリータウンA(赤城悠加、長谷川江籠、西山流聖)

**【県大会】**  
 団体ベスト16：杉の子A



杉の子A



川越の音なりびびく時の鐘

**南越谷地区犯罪の現状と課題**  
 (なかなか減らない振り込め詐欺)  
 3月12日(火)

最近の南越谷地区の犯罪発生状況と今後の課題について越谷警察署生活安全課に取材しました。  
 なかなか減らない振り込め詐欺。最近の傾向は「劇場型」で劇場型とは、集団でいろいろな登場人物になりすまして、次々と劇をして騙す手口による詐欺です。この防止策は「一人で解決しないこと」「警察署・近所の人、身内の人に相談」が最良の方法です。  
 特に最近増加しているのは、「コンビニの被害、業務用自動車盗難(トロッコ、バン型乗用車、特殊車両)です。越谷市内の犯罪発生は、南越谷も含めて、ここ2、3年は減少傾向にあります。(年間約6%)」

地域の皆さんが日頃実行されている「被害にあわないための心掛け」「一声運動」「自主パトロール」「ATMパトロール」「月一回の警察署との合同パトロール」「地域内のルールを守る」などが実を結んでいると思われまます。  
 今後さらなる犯罪防止に向けて、今まで以上に警察署と地域の皆さんと連携していくことが大切です。  
 T.N



**第16回 南越谷地区健康ウォーキング**  
 越谷レイクタウン水辺のまちづくり館へ  
 主催 スポレク 3月2日(土)

第16回「南越谷地区健康ウォーキング」が開催されました。  
 今回は南越谷地区センターから「越谷レイクタウン水辺のまちづくり館」を目指し、約6.5kmを総勢100名で歩きました。途中の大相模不動尊に立寄り、境内にある「虹だんご」で有名なお団子屋さんで、できたてをとともおいしそつに食べていました。  
 強風の中でのウォーキングで大変でしたが、参加者全員が無事にゴールすることができました。参加の皆さんお疲れ様でした。



**コミ協臨時総会開催**  
 南越谷地区センター 2月13日(水)

南越谷地区コミュニティ推進協議会では、役員の一部改正について臨時総会を開催いたしました。会員出席数は52名でした。  
 昨年12月に急逝された饗庭会長の後任に白井俊市氏が、白井副会長の後任に竹内輝明氏が選出されました。白井氏は3代目の会長となります。



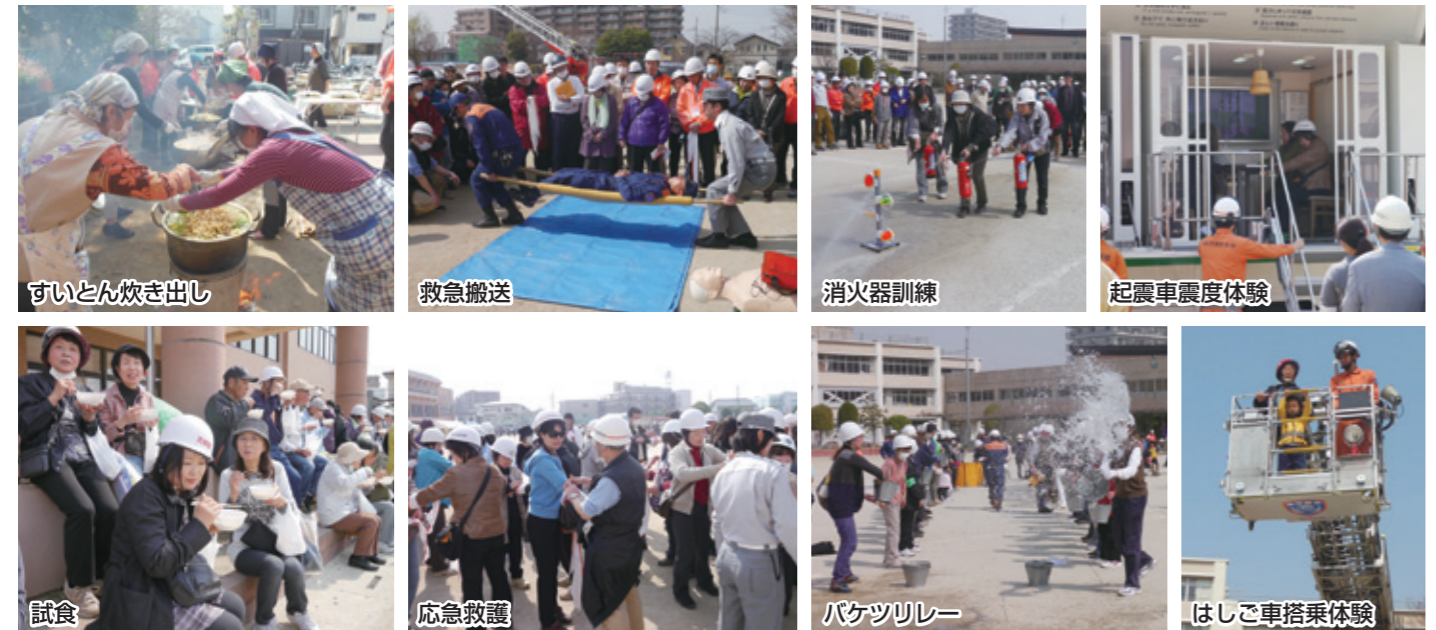
**コミ協会長就任にあたり**

永きにわたり地区コミュニティを導かれた饗庭会長が昨年12月に急逝されました。心からご冥福をお祈りいたします。  
 饗庭会長の後任として、本年2月に私、白井が会長に就任しましたので、よろしくお願いいたします。  
 地区コミ協は、自治会

会長 白井 俊市


**第18回 南越谷地区「総合防災訓練」**  
 (3・11を忘れない)  
 南越谷小学校校庭 3月10日(日)

例年の通り、午前9時に災害が発生したとの想定で訓練が開始されました。参加者は、それぞれの自治会毎に集まり、避難場所の確認などを行い、地区総合防災訓練会場である南越谷小学校に集合し、避難人数を報告。全体で約1,000名と発表されました。  
 コミ協白井会長、高崎自治会連合会会長に続き、来賓の高橋市長からは、「最近、関東地方に地震が頻発している。繰り返し訓練して身につけておくことが大切です」と挨拶があり、訓練に入りました。  
 訓練では、応急救護・AEDを使った訓練、救急搬送訓練、初期消火では消火器・バケツリレー訓練、煙中体験を熱心に行い、震度7の揺れを体験する起震車やはしご車には長蛇の列ができていました。  
 訓練後の講評で、越谷市消防本部百木次長は、「防災用品セットは倉庫の隅などに眠っていませんか? 飲み水、非常用食糧は重要ですよ。地震発生初期の対応や消火器訓練などで身につけたことを役立ててください」と話されました。  
 その後、参加者は炊き出し班が作った「すいとん」を試食し、非常食の「アルファ米」と「乾パン」をもらい終了となりました。  
 東日本大震災から2年経っても未だ余震の恐怖は続いています。防災対策をもう一度確認しておきましょう。 T.O




**ボトルキャップ回収報告**  
 期間：H19.12.1～25.3.11 累計で 4,727,853個  
 ポリオワクチン/ 5,866人分、CO2発生削減/ 36,957Kg でした。  
 今後ともよろしくお願いします!

**敬弔 饗庭 秀男氏 12月10日逝去**  
 当地区コミ協の会長として、永きにわたり地域のコミュニティづくりにご尽力されました。これからも意志を引き継ぎ、務めてまいります。心からご冥福をお祈りいたします。



**編集後記**  
 東日本大震災から2年経過した被災地では本格的な復旧・復興を目指し、希望を持ち続けておられます。私達には、助け合いながら災害を乗り越える“人と人とのきずな”や、地域のつながりなどの大切さに気付くきっかけとなりました。S・H

**お知らせ**  
 ●南越谷地区コミュニティ推進協議会総会  
 日時：5月10日(金) 午後7時  
 会場：南越谷地区センター



## 花いっぱい運動

〜春の訪れを感じて〜  
環境・衛生部会担当 3月3日(日)

今年度3回目となる「花いっぱい運動」が、雛祭りの日に行われました。

門には「街をきれいにしましょう」の「のぼり旗」が立てられ、南越谷地区の緑化運動推進のため、今回は希望する自治会へ花苗が20ポットずつ配付されました。

花苗は、サクラソウ・プリムラ・ムルチコーシ各100ポット、パンジー300ポットの合計600ポットと種類が多く、皆さん楽しんで選び、何種類か取り混ぜて持って行く自治会もありました。

花苗は自治会に配付されたほか、第1・2回「花いっぱい運動」で花を植えている鳩ヶ谷・別府線沿いの花壇の補充と手入れをし、また地区センターの花壇の植え替えも行われ、玄関前が明るく華やかになりました。自治会によつては、新越谷駅前の花壇、自治会館に植えるということもありました。

この冬は何度も雪が降って厳しい冬でしたが、何日も続いていた強風も弱まり、春の訪れを感じることができました。



新越谷駅西口ロータリー



地区センター玄関前

N・A

## 南越谷地区成人式

〜どの個性も輝きの成人〜

富士中学校体育館 1月13日(日)

好天に恵まれたこの日、地区の自治会長をはじめ小中学校の恩師を来賓に迎え、多くの保護者も列席され、平成24年度の南越谷地区成人式が開催されました。南越谷地区の対象者は、314名で出席した新成人は214名でした。

式典は、新成人実行委員の名倉さんによる司会で、飯島実行委員長、越谷市長、越谷市議会議長より「人と人の出会いと絆を大切に進んで欲しい」「自らの可能性を信じ、力強く未来を切り開いて欲しい」などお祝いの言葉がありました。それに答えて新成人を代表して河崎さんより「全体のハーモニイを奏するため、大人としての自覚をもつて、新しい日本を作るために貢献します」と力強い誓いの言葉がありました。

来賓紹介では、小・中学校恩師の時に、大きな拍手と歓声が上がっていました。

式典後は、新成人実行委員による抽選会で盛り上がり、茶話会では恩師を囲み、仲間との輪もあちこちでとき、なごやかなひと時でした。



S・H

## 第5回 協働フェスタ

主催 協働フェスタ実行委員会  
越谷市中央市民会館 1月26日(土)

市内で活動する市民活動団体をはじめ地域活動団体や企業・行政が協働のまちづくりを目指し「大きなお世話でまちづくり」をテーマに、5団体が活動の発表と情報の交換を行いました。

協働のまちづくりシンポジウムでは「みんなで一緒にまちづくり」(越谷つてこんなにオモシロイ!!)をテーマにパネルディスカッション、各種団体のイベント、展示、スタンブラリー、会館前広場では、模擬店、太鼓演奏、バザーでは「大きなお世話なべ」(豚汁風)の販売がありました。

越谷コミ協では、当南越谷地区コミ協の他3地区が2階展示コーナーで地区の催しを大パネルで紹介し、資料を配り交流を図りました。



T・N

## 第3回 自治会シンポジウム

〜パネルディスカッション 越谷ファミリータウン自治会参加〜

主催 越谷市自治会連合会・越谷市  
越谷市中央市民会館 2月16日(土)

自治会を取巻く環境は、高齢化到来、自治会加入の減少など大きく変化している中、越谷市13地区自治会が出席し、高橋越谷市長の挨拶後、第一部は佐藤良子立川市大山自治会長より「住民に必要とされる自治会づくり」についての説明がありました。

第二部は「魅力的な自治会をめざして」として佐藤良子さんをコメンテーターとし、越谷ファミリータウン・船渡睦町会・南荻島出津・藤塚北各自治会がパネラーとなり、「自治会加入率の低下」「自治会役員の後継者不足」「高齢化対策」等を中心に熱心な討議を行いました。講演や討議を通じて、「ここに住んでよかった・育つてよかった」のまちづくりをみんなで作り上げるような自治会にしなければならぬと締めくくられました。



T・N  
越谷ファミリータウン  
自治会長 岩男 義明氏  
(向かって右から2番目)



## 第13回 まちづくりシンポジウム

主催 越谷市コミュニティ推進協議会 越谷市  
越谷市中央市民会館劇場 2月16日(土)

今年度のシンポジウムは、「安全・安心な地域づくり」をテーマとして3部構成で開催されました。

第一部は獨協大学高松和幸教授から「どのように防災意識を高めるか」というテーマで、学生を中心として取り組んでいる防災イベント「イザ! カエルキャラバン」や、地域の問題解決能力を高めるソーシャル・キャピタルについてお話がありました。カエルキャラバンはおもちゃの物々交換プログラムをベースにしたイベントで、子どもたちがゲーム感覚で防災について学ぶことができ、同時に子ども親の世代も積極的に防災活動へ参加することを期待しています。

第二部では、3地区のコミュニティ推進協議会から活動事例発表が行われました。

◎桜井地区では落語会、福祉・医療に関する講演や「さわやか桜井ウォーキング」などを実施し、高齢者社会に必要な知識、健康増進、住民間コミュニケーションの機会を提供しています。

◎大沢地区では「総合防災訓練」を実施し、自治会内の防災体制をつくることを目的とした各種訓練を行っています。

◎南越谷地区では地区住民の防災意識の高揚と自主防災組織の設立を促進するための「総合防災訓練」、地域の防災拠点を実際に歩いて確認するための「防災ウォークラリー」、災害時に適切な初



S・K

期応急手当ができる「普通救命講習会」の実施や、防犯のための「声運動および自転車マナー向上キャンペーン」ポスターを小学生から募集することによって、多世代にわたる地域住民の防犯と交通安全への認識向上を促進しています。

第三部は、高松教授がコーディネーターとなり、事例発表した3地区に加え、新方地区、増林地区、出羽地区と獨協大学の2学生をパネラーとしてディスカッションが行われました。ここでは、「防災のための財源をどう確保しているか」「どういつ人材を育てていくか」「過去の取り組み事例」「今後の活動計画」等のテーマに関して各参加者による情報交換がありました。高松教授からは、防災意識を高めることが地域力を高める、というコメントがありました。

最後に、高橋越谷市長から、各コミ協・自治会が一致協力して自助・共助・公助のための日頃の活動が重要である、との激励があり閉会致しました。

## 昔からの遊び大会

福祉部会担当 南越谷小学校 1月25日(金)

南越谷地区センター・公民館で活動している方々に対し、南越谷小学校から1年生の生活科学習「昔からの遊び大会」の実施協力の依頼がありました。コミ協では、福祉部会員が世代間交流事業として協力しました。



ゴムてっぽう



めんこ

K・H

## 子ども発表会

南越谷地区センター多目的ホール 3月3日(日)

公民館主催事業の発表会が多目的ホールで開催されました。「パレット子育て広場」では体操と合奏、「わくわくお話広場」では絵本の読み聞かせ、「チャアディーニング」と「キッズ・子ども太鼓、子ども太鼓どんどこ」では1年間の練習の成果を大勢の保護者を前に伸び伸びと発表していました。



S・H